



# 学校だより 5月

令和6年4月30日

横浜市立芹が谷南小学校

～笑顔いっぱい やさしさいっぱい 芹が谷大好き みんな生き生き芹南っ子～

学校 Web ページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/serigayaminami/>

## 「ようこそ芹南へ」「どうぞよろしく」

校長 大島 恵子

風薫る5月、若葉が美しく心地よい季節となりました。保健室前の池ではオタマジャクシが元気に泳ぎ、正門をくぐると芹南のシンボル御衣黄桜が美しく咲いています。生き生きとした生命のエネルギーを感じることができる気持ちのよい季節の中、新しいクラスでの毎日3週間が過ぎ子どもたちは元気に過ごしています。

先日プロジェクト委員会の企画のもと「1年生を迎える会」が開かれました。密を避けるために「迎える会」はここ数年テレビ放送で行ってきましたが、今年度は久しぶりに皆で体育館に集まって行うことができました。6年生に手をひかれ、少し緊張しながらも嬉しそうに入場してくる1年生。1年生と手をつなぎ、大切なものを扱うように優しく誘導してくれる6年生。1年生と6年生の入場を拍手で盛り上げてくれる2～5年生。それをニコニコと見守る先生たち。この場面だけでもとても素敵な光景ですが、会の内容も1年生へのプレゼントとして各学年が準備した「芹南クイズ」「芹南みんなの歌」「芹南音頭」「ソーラン節」等々、芹南らしさがいっぱいの温かいものでした。すでに学校 Web ページで詳細はお伝えしておりますが、上級生の「ようこそ芹南へ」と1年生の「どうぞよろしく」の気持ちが重なった会でした。

本校の特色の一つに縦割り活動が挙げられます。1年生から6年生まで各学年の児童でなかよし班を作り、一年間同じメンバーで活動します。その際、活動をリードするのは6年生です。各班に同学年の児童は数名しかいないので、数名の6年生で自分たちのなかよし班をリードしていかなければなりません。クラスの中では友達に任せたり頼ったりすることもできますが、なかよし班の中ではそうはいきません。一人ひとりが自分の役割を果たしていかなければならないので責任重大です。6年生は其中で、活動をリードしていくリーダーシップや最高学年としての自覚、下級生に対する思いやりなど多くのことを学びます。最上級生として頼りにされる喜びも十分味わうことでしょう。5年生は6年生の姿に来年度の自分を重ね、リーダーとしてどうあるべきかを学びます。下級生の児童は上級生の姿に憧れ、異学年で交流する楽しさを味わいます。もちろん6年生が1年生に対して給食後の片付けや掃除の手伝いを行ったり、授業の中で交流をしたりするなどなかよし活動以外にも異学年の交流はありますが、芹南の子どもたちにとってなかよし活動は、年間を通して柱となる大切な活動です。



芹南名物 御衣黄桜  
花は緑色の部分と黄色の部分が交じっています。

「1年生を迎える会」で素敵な出会いをした子どもたちの今後の活動が楽しみです。子どもたち待望のなかよし活動ももうすぐ始まります。互いに多くのことを学べるなかよし活動を中心とした縦割り活動を今後も大切に進めていきます。